



# 施工完了 チェックシート

◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

確認日	年 月 日
確認者	

1□から6□を  
 チェック

- 1** クイックファスナーを正しく取り付けていますか
  - クイックファスナーが確実に固定されていること。
  - 給水ホースが回らないように持ち、クイックファスナーが軽く回ること。
  - 給水ホースを引っ張っても抜けないこと。

※クイックファスナーが正しく取り付けされていないと水漏れが発生するおそれがあります。  
再度、取り付け手順に従ってください。
- 2** 止水栓を開けていますか
  - 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
  - 十分開いてないと洗浄強さが得られないことがあります。
- 3** 水漏れしていませんか
  - 水漏れないか必ず確認してください。
  - 水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。

※洗浄中、ノズルの左から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。【P.13】
- 4** 電源は入っていますか
  - 電源ランプは点灯していますか。
- 5** 温水タンクに水が入っていますか
  - 施工完了後、本体操作部のノズル掃除スイッチを押すと、ノズルが出て、タンクに注水を始めます。約1分後、ノズルから水が下向きに出るとタンクに水が入っています。  
※ノズルの左から出る水は、圧力逃がし水であり、水漏れではありません。
- 6** 着座センサーは正常に働きますか
  - ポリ袋など便器にはさむ。
  - 便座に向かって左後部を押し、「カチッ」と音がするのを確認してください。  
着座ランプが点灯します。
  - 便座に向かって左後部を押しながら、  
おしゃりまたは<sup>ビニ</sup>を押し、洗浄水が上に出ることを確認してください。

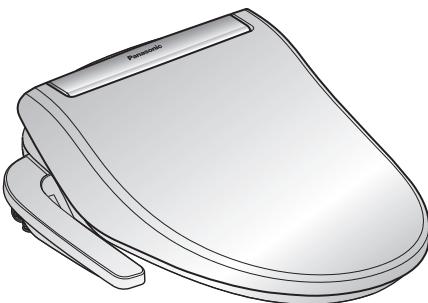
配管方法などはイラストと異なる場合があります。

お願い ●試運転は、必ず行ってください。【P.12】

パナソニック株式会社 水廻りシステムビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2019



# Panasonic®

## 施工説明書

温水洗浄便座 家庭用

品番

CH328AWS・CH328AWSV・CH328AWSC  
CH329AWS・CH329AWSV・CH329AWSC

ページ

準備

設置

取付

試運転

確認

<b>1</b>	●安全上のご注意.....	2
	●施工の前に.....	3
	●各部の名前と同梱部品の確認.....	4
<b>2</b>	●施工の流れ.....	6
	取り替えの場合	
	●止水栓を閉め、給水ホースを外す.....	7
	新規設置の場合	
	●分岐金具を取り付ける.....	7
<b>3</b>	●本体を取り付ける.....	8
	●給水ホースを取り付ける.....	10
	●アース線の接続.....	11
	●止水栓を開ける.....	11
<b>4</b>	●試運転.....	12
<b>5</b>	●こんなときは.....	14
	●施工完了チェックシート.....	裏表紙



CH90203280A1  
CS0519-0

# 安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**△警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**△注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

**○** してはいけない内容です。

**!** 実行しなければならない内容です。

## △警告

**○**  
■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない  
(たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因)

■ 電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない  
(傷んだまま使用すると、感電やショートして火災の原因)

■ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しない  
(感電や発熱による火災の原因)

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない  
(感電の原因)

■ 上水道以外には接続しない  
(ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因)  
(腐食や異物付着による水漏れの原因)

■ バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない  
(感電や火災の原因)

## △注意

**!**  
■ D種接地工事を行う  
(アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因)

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む  
(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因)

■ 施工は、施工説明書に従って確実に行う  
(説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因)

■ 施工は、必ず同梱部品および指定の部品を使用する  
(指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因)

■ 電気工事は、内線規程に従つて施工する  
(内線規程に従わないと、火災、感電の原因)

■ コンセントのアース端子にアース線を取り付ける  
(アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因)

**!**  
■ 水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う  
(条例に基づいて行わないと、水漏れの原因)

■ 移動や施工時、本体を持つ  
(便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因)

# 施工の前に

## お願い

- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まない。故障の原因となります。
- 本体内の残水が凍結している場合は、本体を暖かい部屋に放置し、残水がとけてから設置する。
- 必ず同梱の分岐金具をご使用ください。

## お知らせ

- この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出ることがありますか、故障ではありません。
- 使用水圧範囲は49~735 kPa、{0.5~7.5 kgf/cm<sup>2</sup>} です。

## ご準備いただくもの



メジャー



マイナス  
ドライバー



プラス  
ドライバー



モンキー  
レンチ



バケツ・ぞうきん

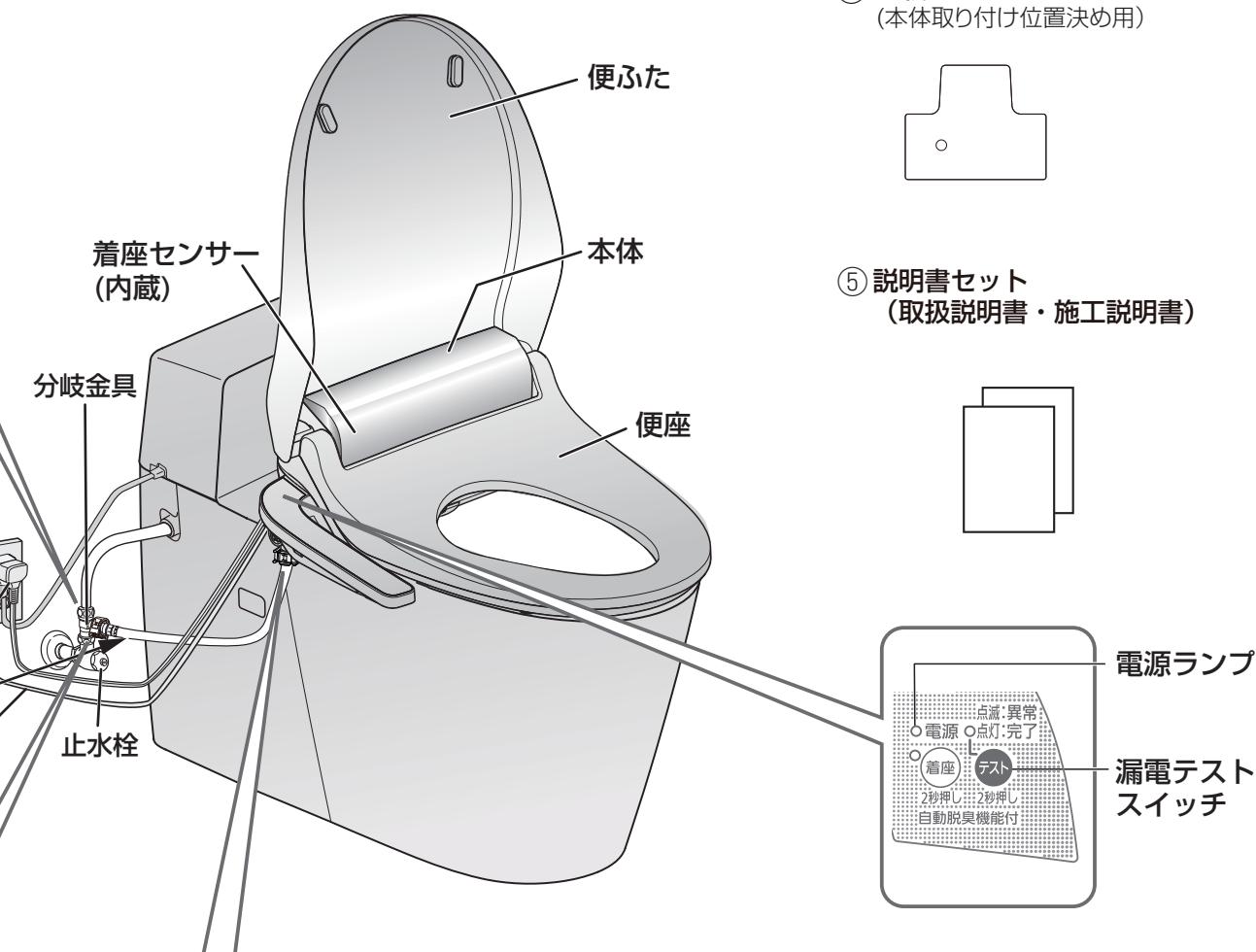
準備

# 各部の名前と同梱部品の確認

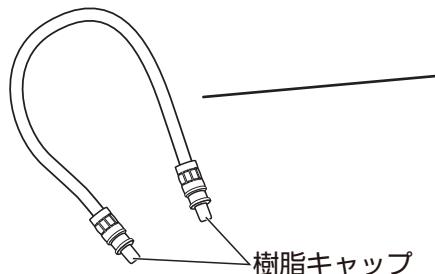
## ① 分岐金具セット



アラウーノV便器同梱のパッキンを使用



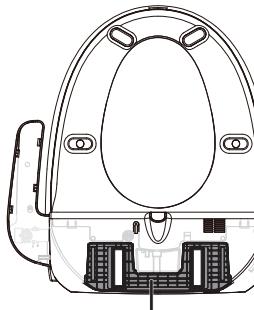
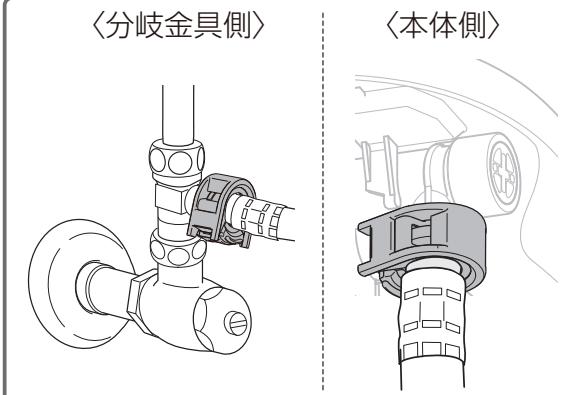
## ② 給水ホース



電源プラグ  
アース線  
止水栓

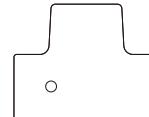
樹脂キャップ

## ③ クイックファスナー →

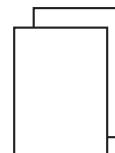


本体固定板【P.9】  
・本体裏側に取り付けされています。

## ④ 型紙 (本体取り付け位置決め用)



## ⑤ 説明書セット (取扱説明書・施工説明書)



**【同梱部品】** 同梱部品をチェックしてください。  チェック

番号	部品名	数量	チェック欄
①	分岐金具セット (分岐金具 パッキン 青2 mm厚さ×1 パッキン 黒2.5 mm厚さ×1 (使用しません))	1	<input type="checkbox"/>
②	給水ホース	1	<input type="checkbox"/>
③	クイックファスナー	2	<input type="checkbox"/>
④	型紙	1	<input type="checkbox"/>
⑤	説明書セット (取扱説明書 施工説明書)	1	<input type="checkbox"/>

準備

## ⚠ 警告

- 分岐金具接続時にシールテープを使用しない  
  
(シールテープがパッキンに挟み込み  
水漏れのおそれあり)
- 同梱のパッキン、クイックファスナーを使用する  
  
(取り付け忘れや、他の部品で接続す  
ると重大な水漏れのおそれあり)

# 施工の流れ

P.7

取り替えの場合

止水栓を閉め、給水ホースを外す

※床面に止水栓がある場合もあります。



P.7

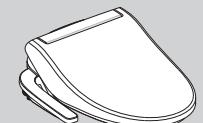
新規設置の場合

分岐金具を取り付ける



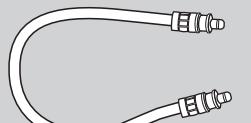
P.8

本体を取り付ける



P.10

給水ホースを取り付ける



P.11

アース線の接続／止水栓を開ける

P.12

試運転

裏表紙

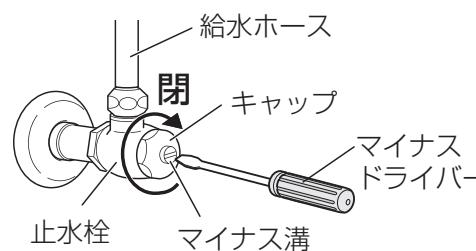
施工完了チェックシートで確認する

取り替えの場合

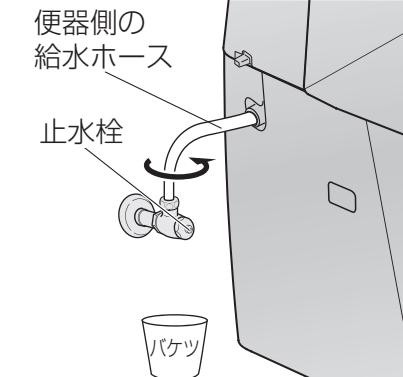
# 止水栓を閉め、給水ホースを外す

止水栓を閉めた後、便器内の水を流し切ってください。

① 止水栓を閉める



② 便器側の給水ホースを外す

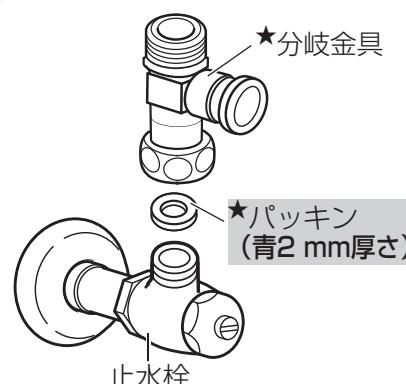


●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

新規設置の場合

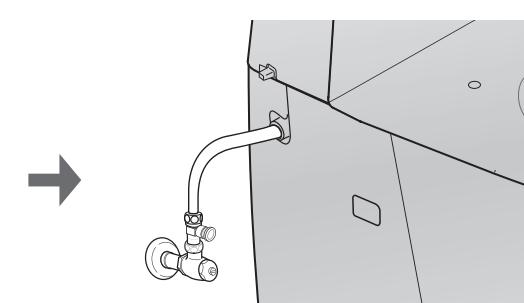
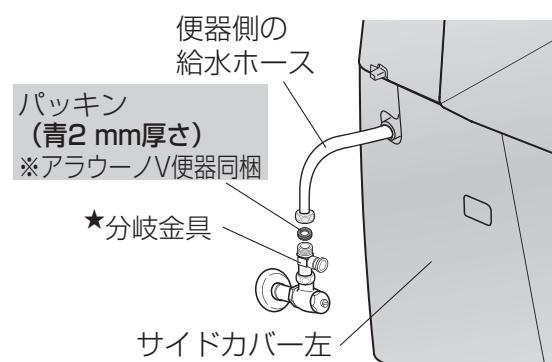
# 分岐金具を取り付ける

① 分岐金具を止水栓に、取り付ける



★は、同梱部品です。

② 便器側の給水ホースを分岐金具に接続する



注意

■ 分岐金具は傾かないように取り付け  
袋ナットをしっかりと締め付ける

!(締め付けが不十分な場合、水漏れの原因)

お願い

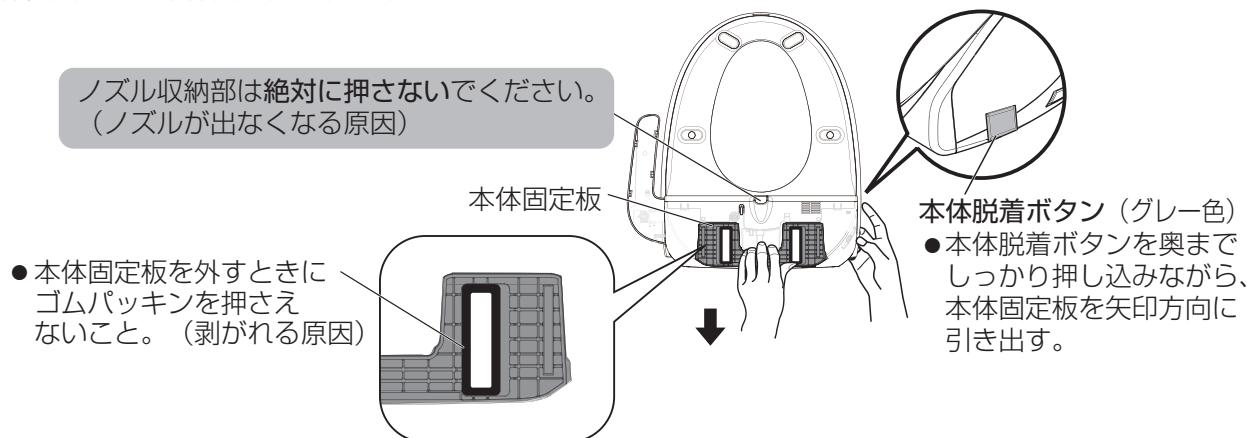
●給水ホースは便器のサイドカバー左が  
開閉できるようにしてください。

設置

# 本体を取り付ける

## ① 本体固定板を取り外す（共通）

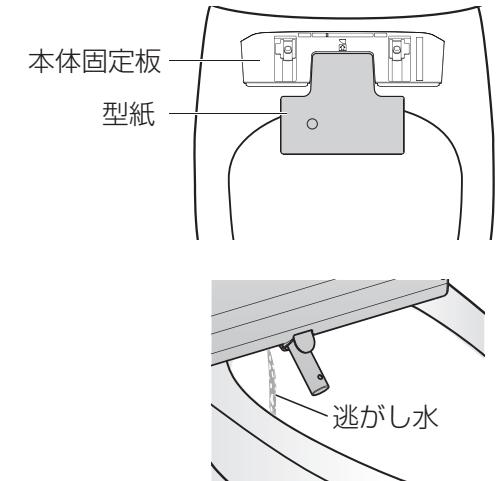
本体裏面にある本体固定板を取り外す。



## 2. 型紙を使用し、本体固定板の取り付け位置を決める。

(詳しくは同梱の型紙参照)

- 型紙の穴が便器でふさがると、本体の逃がし水が便器内に流れず便器外に水漏れする原因となります。本体取り付け位置を変更した場合も型紙を使用して再確認してください。



## 3. 型紙を外し、本体固定板が動かないよう本締めする。

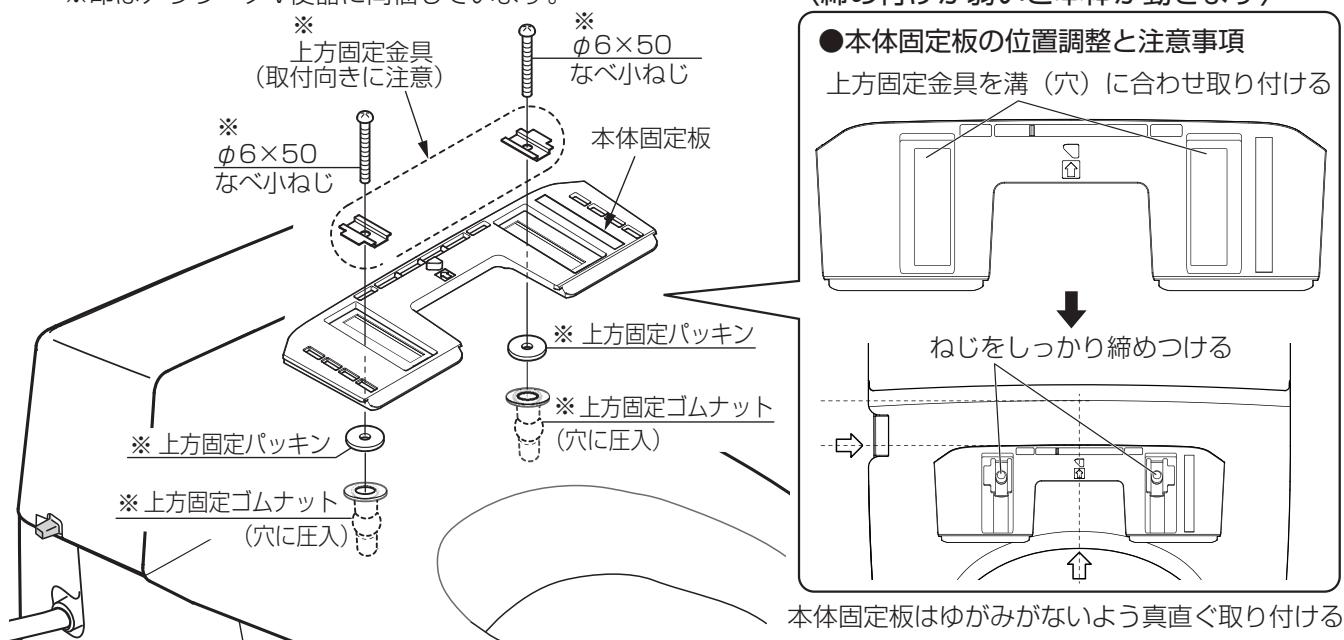
## ② 本体固定板の取り付け

1. アラウーノV便器に同梱している部品を使用し、本体固定板を便器に固定（仮固定）する。

### 【アラウーノV便器側同梱部品】

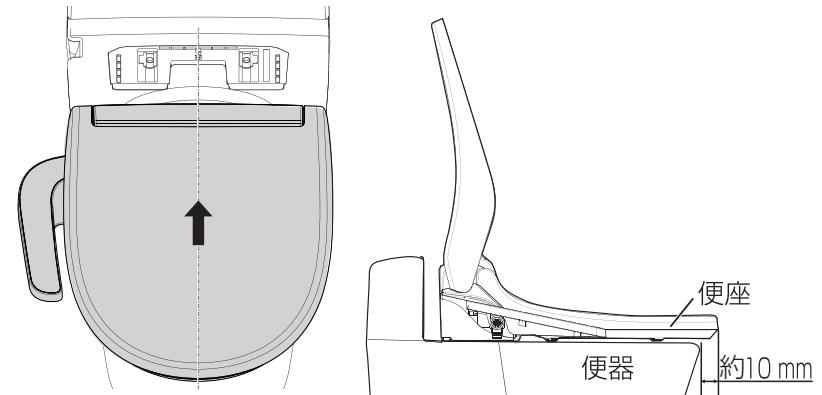
上方固定金具		2個	なべ小ねじ (M6×50 mm)		2本
上方固定パッキン		2個	上方固定ゴムナット		2個

※印はアラウーノV便器に同梱しています。



## ③ 本体の取り付け

1. 本体固定板の中心と本体の中心を合わせる。
2. 便器面から本体をすべらせ「カチッ」と音がするまで押し込む。
  - 電源コードをはさみ込まないようにしてください。
  - 便座の先端が便器の先端から約10 mm前に出る位置が標準取付位置です。



本体が便器から脱着できる構造のため、少しがたつきが生じることがありますか異常ではありません。

# 給水ホースを取り付ける

**重要：給水ホースを正しく取り付けないと重大な水漏れの原因**

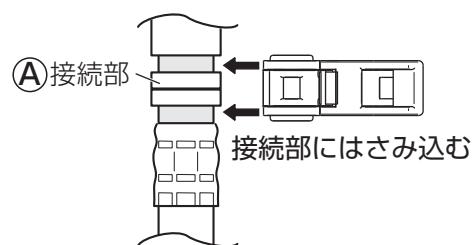
## ① 分岐金具への接続

- 1.給水ホース先端の樹脂キャップを外し、Oリング部にゴミがないことを確認し、分岐金具の接続口にまっすぐ差し込む。

**ご注意** 給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れることがあります。

**お願い** 既設の給水ホースは使用しないでください。（劣化により水漏れの原因）

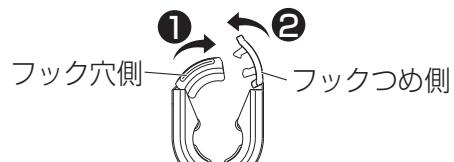
- 2.クイックファスナーを給水ホースと分岐金具の接続口に確実に奥まで差し込む。（「パチッ」と音がするまで差し込む）



- 3.フックを確実に固定する

- ①フック穴側を折り曲げる
- ②フックつめ側をフック穴側に折り曲げ固定する

（「パチッ」と音がするまで固定する）



- 4.給水ホースが回らないように持ってクイックファスナーが軽く回ることを確認する。

\*軽く回らない場合は、正しい位置に取り付けされていません。

## ② 本体への接続(分岐金具への接続と同様)

(作業がやりにくい場合は、本体を手前に引き出す【P.9】)

- 1.給水ホース先端の樹脂キャップを外し、Oリング部にゴミがないことを確認し、本体接続口にまっすぐ差し込む。

- 2.クイックファスナーを給水ホースと本体接続部に確実に奥まで差し込む。（「パチッ」と音がします）

- 3.フックを確実に固定する

- ①フック穴側を折り曲げる
- ②フックつめ側をフック穴側に折り曲げ固定する

（「パチッ」と音がします）

- 4.給水ホースが回らないように持ってクイックファスナーが軽く回ることを確認する。

\*軽く回らない場合は、正しい位置に取り付けされていません。

## ③ 必ず確認

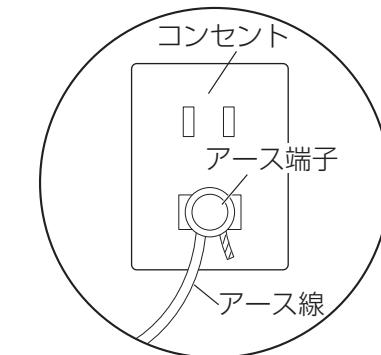
- クイックファスナーが確実に固定されているか確認してください。

- 給水ホースを引っ張って、分岐金具接続口や本体接続口から抜けないことを確認してください。

# アース線の接続

## 必ずコンセント側へ接続してください

（アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください）



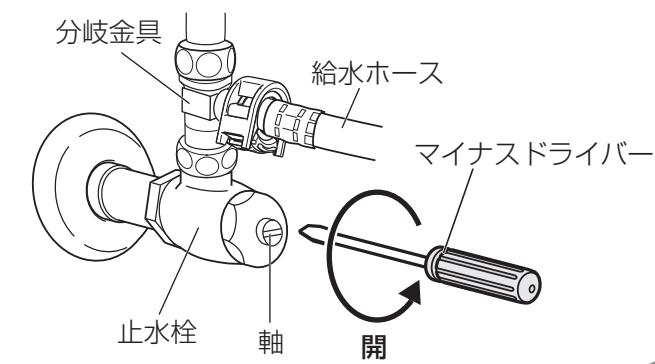
上図はアース付きコンセントの一例です。

# 止水栓を開ける

各接続部がきっちりと接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。

- 十分開いてないと洗浄強さが得られないことがあります。



取付

# 試運転

- ① 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認する  
(十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります)  
給水接続部から水漏れがないことを確認する

- ② 本体梱包用のポリ袋などをはさむ  
(便座と便器の間)

- ③ 電源プラグが差し込まれていることを確認する

- ④ 漏電テストスイッチを2秒以上押す

- 漏電検知機能が作動し、電源が切れます。
- 漏電テスランプ（赤）点灯。
- 電源ランプ（緑）消灯。

- ⑤ 電源プラグを抜く

- 漏電テスランプ（赤）が消灯することを確認する。

- ⑥ 電源プラグを差す

- 電源ランプが約10秒間点滅後、点灯に換わります。
- 温水温度設定が「切」になっていることを確認する。

- ⑦ ノズルを押す

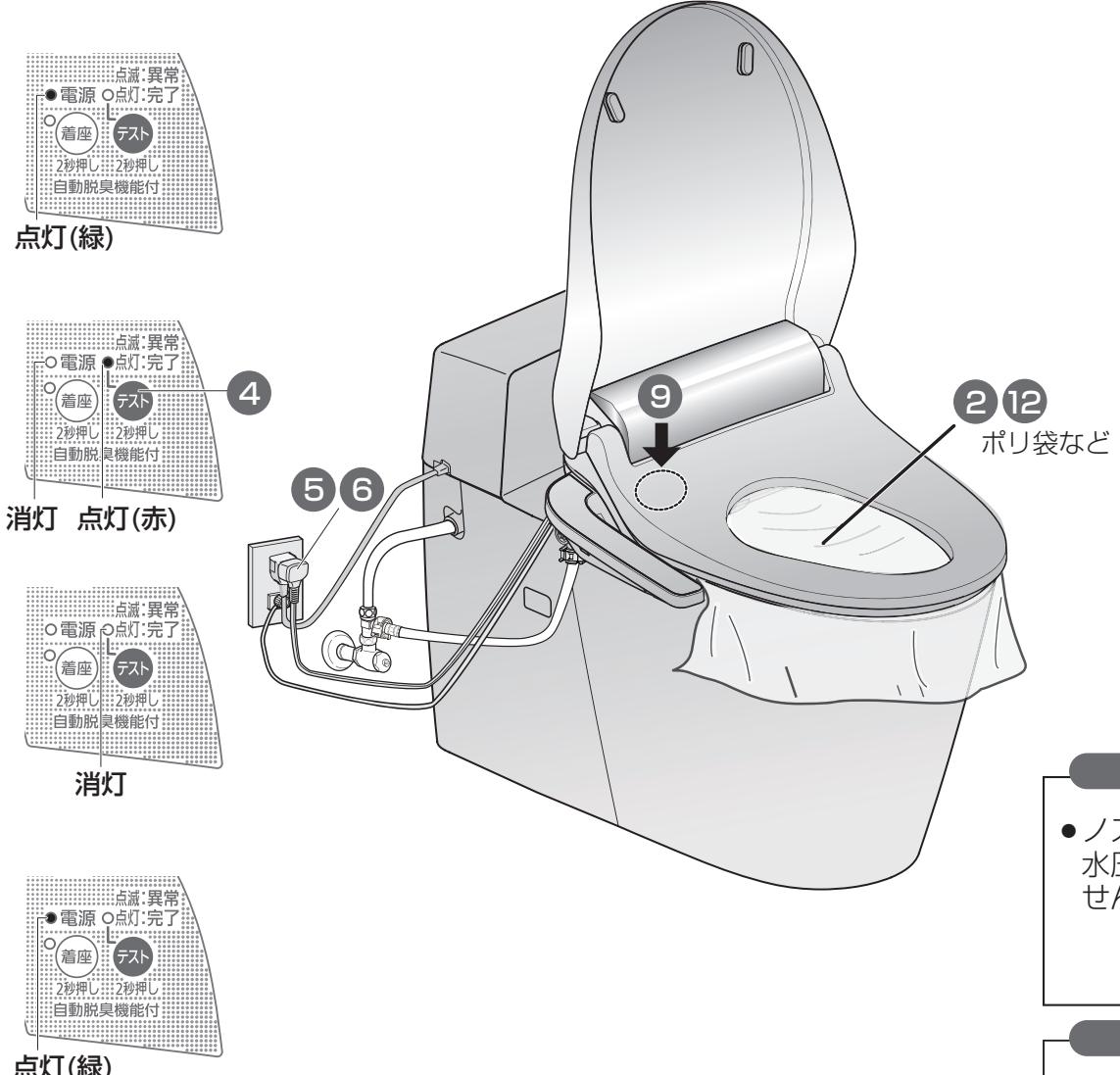
- 本体の温水タンクに注水を始めます。  
ノズルが出て、約1分後お手入れ状態になり、水が下向きに出ます。  
水が出ない場合、水道の元栓または止水栓を開いてください。

## 温水タンク内の空焚きについて

- 試運転の手順⑦の時点で、温水温度ランプの「低」「中」「高」が全点滅している場合は、温水タンク内の空焚き表示です。故障ではありません。  
(以下の処置をする)
  - 水道の元栓、止水栓を開き、手順⑦から試運転を行う。(温水温度ランプは消灯します)

- ⑧ 停止を押す

- ノズルが元に戻ります。



- ⑨ 便座の左後部を押しながら、(着座ランプ点灯)

または を押す

- 脱臭が始まります。(CH328AWS、CH328AWSV、CH328AWSCのみ)
- ノズルを洗浄し、約5~8秒後に洗浄水が出ます。  
(着座検知していないと、洗浄水が出ません)

便座の左後部を押さずに「おしり」または「ビデ」を押した場合  
→着座検知しないと「ピピピ」と音がし、動作しません。  
再度、手順⑨から試運転を行ってください。

- ⑩ を押す

- ノズルが戻ってから、ノズルを洗浄する水が出ます。
- 便座の左後部から手を離すと、約1分後に脱臭(CH328AWS、CH328AWSV、CH328AWSCのみ)が停止します。

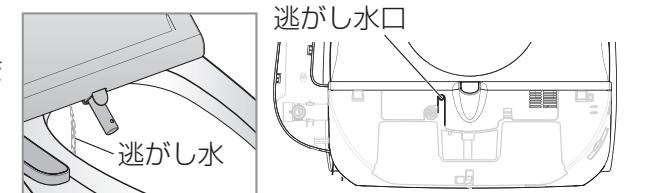
- ⑪ 便座と温水のスイッチで温度設定し、通電約5~12分後に便座と洗浄水のあたたかさを確認する

- ポリ袋の上から手をあて、温水が出ることを確認してください。

- ⑫ ポリ袋を外す

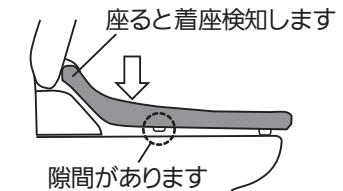
## 水圧調整の逃がし水について

- ノズルの左(逃がし水口)から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。



## 着座検知について

- 便座の後ろ脚と、前の片側の脚が浮いている状態が正常です。  
この浮き(隙間)がないと座ったときに着座検知しません。

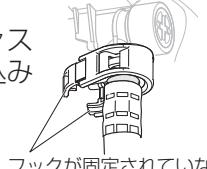
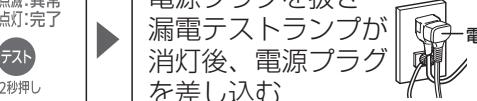


## お知らせ

- 漏電テスランプが点滅する場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。  
その後、工事店または販売店へ連絡してください。
- 便ふたや便座の上から押さえると、着座ランプが点灯し、脱臭(CH328AWS、CH328AWSV、CH328AWSCのみ)が始まります。  
また、その状態で洗浄スイッチを押した場合、洗浄水が出ます。
- 洗浄停止後、ノズル付近から水滴が落ちることがありますが、温水タンクの水が温まったときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。  
(洗浄後、約7~8分)

# こんなときは

# メモ欄

現象	考えられる原因と処置方法		
	参照ページ		
本体操作部の温水温度ランプの「低」「中」「高」が全点滅する 	●水道の元栓、止水栓が開いてない ●止水栓を開にする前に電源プラグをコンセントに差し込んだ	水道の元栓、止水栓を開にし、電源プラグを差し直し、その後、再度試運転を行う	11 12
洗浄水が出ない 洗浄強さが弱い	水道水フィルターがつまっている 	掃除する	取扱説明書
	水道の元栓が全開になっていない	水道の元栓を全開にする	—
	止水栓が開いてない	止水栓を開にする	11
	便器の洗浄中	便器の洗浄が終わるのを待つ	—
接続部から水漏れする	給水ホース先端のOリングにゴミが付着 	Oリングのゴミを取り除く	10
	ナットの締め付け力が不足	増し締める	—
	締め過ぎによるパッキンなどのずれ	ずれをなくす	—
	クイックファスナーの差し込み不足やズレ 	確実に固定する 	10
電源が入らない 	漏電テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動（漏電テストランプが点灯） 	電源プラグを抜き漏電テストランプが消灯後、電源プラグを差し込む	12

## 施工後の注意

凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください（取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照）

確認